

SPODフォーラム2013シンポジウム 130822

ポートフォリオは大学教育の質向上に貢献できるか？

金沢工業大学における ラーニング・ポートフォリオの実践事例について ーKITポートフォリオシステムー

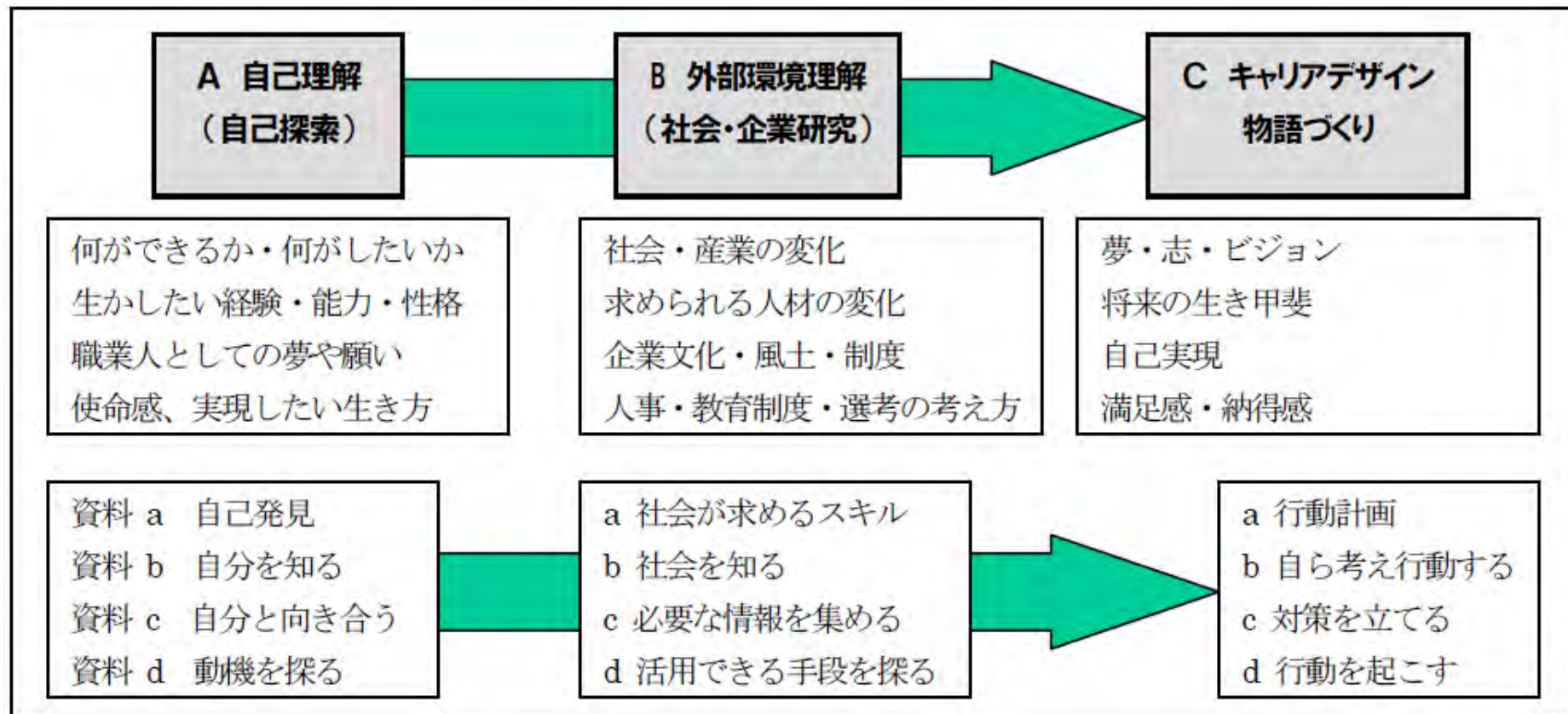


藤本 元啓

K. I. T.
金沢工業大学

1. はじめに ポートフォリオ運用の動機

- ・目的志向を高める、自信を持たせる、人間力を高める
- ・学修成果を記録する習慣付け
- ・マス教育から個々の学生に焦点を当てた教育への転換



2. KITポートフォリオシステムの全体像

修学生活における自己管理と自己評価からの気づき

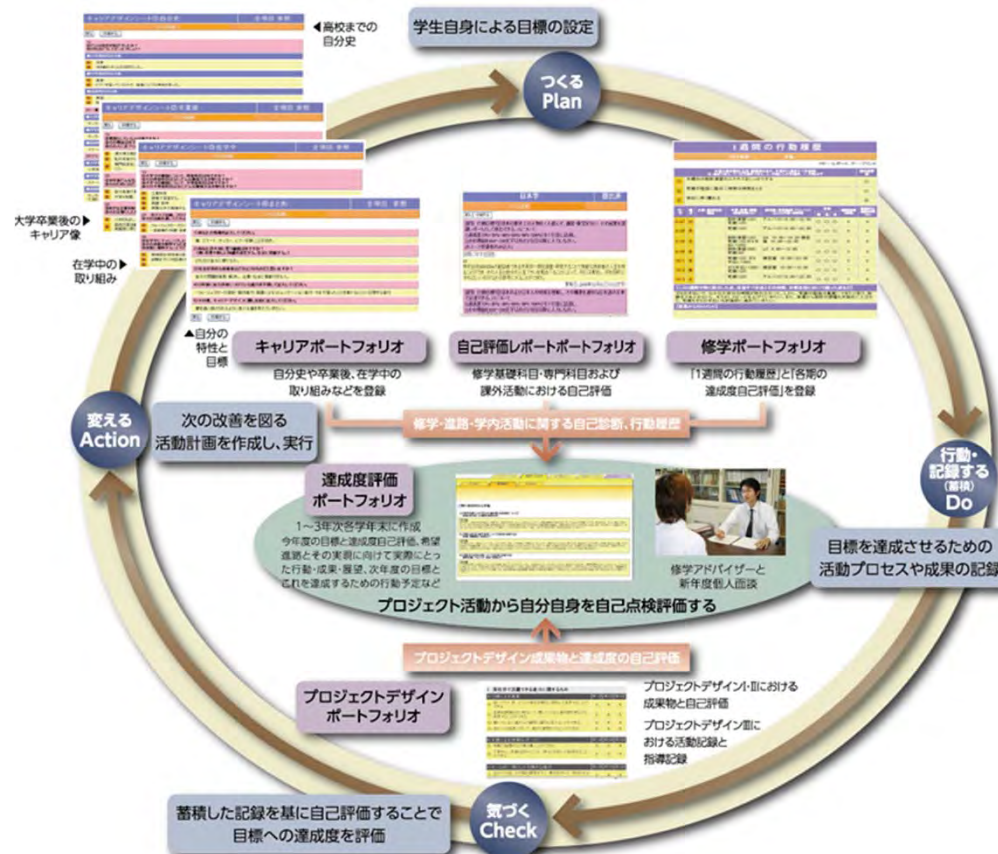
学習プロセスと成果とを学生・教員が相互検証

「気づき→努力→自信→意欲」を引き出すシステム

自己実現の目標を設定し(Plan)、その目標を達成するための活動プロセスや成果を「KITポートフォリオシステム」に記録(Do)、集積した記録をもとに目標への達成度を自己評価し(Check)、次の改善を図る活動計画を作成し実行(Action)する。

1週間単位、学期単位、学年単位で自らの目標の達成度を確認しながら、

①自学自習の姿勢を身につける ②生活スタイルを確立する ③自己の目的指向を高める



	1 年	2 年	3 年	4 年
1週間の行動履歴	◎	○	○	○
新聞ポートフォリオ	◎	◎	◎	○
学期末の達成度自己評価	◎			
キャリアデザイン	◎	◎	◎	
自己評価レポート (科目登録制)	◎	◎	◎	◎
プロジェクトデザイ I II	◎	◎		
科学技術者倫理			◎	
プロジェクトデザイン III				◎
達成度評価レポート (学年末)	◎	◎	◎	

◎印: 必須 ○印: 任意

3. 初年次基幹科目「修学基礎A・B」の概要

1年次生全学必修科目・共通学習支援計画書(シラバス)

自己の管理・評価・理解

1. 2単位、全学必修 1年間を通した修学・生活指導
2. キャリアデザインポートフォリオ、修学ポートフォリオ、新聞ポートフォリオ
★「主体性をもった人物に育つための準備作業」:PDCAサイクル
1日、1週間、1学期間、1学年
修学・生活の自己管理とタイムマネジメント
気づき：何を省き、何に取り組むか
年度末：1年次の達成度評価ポートフォリオレポートの作成
3. 本学の各種授業スタイル(講義、講話聴講、演習、グループ討議、プレゼンテーション)の体験
4. キャンパスラリー、LCツアー、研究室調査・訪問(→履修計画)など、教室から離れた活動の体験
5. ポートフォリオ・聴講ノート・レポート・小論文コンテストを通した日本語表現方法の量的体験 ★ライティングセンター：年2回のレポート添削
6. 5月と2月の全数個人面談、各学期の指定・希望個人面談
7. 1クラス50～70名、30クラス、教養系教員1クラス担当、全クラス1限目開講

4. キャリアデザインポートフォリオ I Ver.2

自分史

クラス名列: 9EY9-999 氏名: 工大 デモ

自己分析・自己理解・
動機付け

1) 高校時代・中学校時代・小学校時代を振り返り、以下の学習分野についてその当時の好き嫌い、得意不得意を教えてください。

2) ①高校時代・中学校時代・小学校時代を振り返り、学校の授業以外で得意だったことは何でしたか。

2) ②なぜ、得意だったと考えますか。

[登録](#)・[参照](#)

3) ①将来、何になりたいと思っていましたか。夢は何でしたか。

[登録](#)・[参照](#)

3) ②そのなりたいと思っていたことや夢を実現するためにどのような努力をしていましたか。

[登録](#)・[参照](#)

将来像

クラス名列: 9EY9-999 氏名: 工大 デモ学生

1) ①10年後どんな生活をしていたいと思いますか。

[登録](#)・[参照](#)

1) ②そのためにはどのような努力が必要ですか。

[登録](#)・[参照](#)

2) ①働く目的とは、どんなものだと思いますか。(箇条書きでできるだけ沢山あげてください)

[登録](#)・[参照](#)

2) ②そのなかで、最もあなたが重視するものはどれですか。またその理由は何ですか。

[登録](#)・[参照](#)

3) ①現在興味のある職種・職業は何ですか。

[登録](#)・[参照](#)

3) ②なぜ、その職種・職業に興味があるのですか。

[登録](#)・[参照](#)

3) ③興味のある職種・職業にはどのような能力が必要になると考えますか。

[登録](#)・[参照](#)

キャリアデザインシート 将来像

在学中

クラス名列: 9EY9-999 氏名: 工大 デモ学生

1) 【将来像】の3) ③で答えた興味ある職種・職業に必要な能力を得るためには、在学中に何をすることがよいと考えますか。理由を含めて教えてください。

[登録](#)・[参照](#)

2) これからの学生生活に、どのような心構えで臨みますか。

[登録](#)・[参照](#)

キャリアデザインシート 在学中

キャリアデザイン・レポート

クラス名列: 9EY9-999 氏名: 工大 デモ学生

★キャリアデザイン・レポート① 「卒業後の私」「社会人としての私」

[登録](#)・[参照](#)

★キャリアデザイン・レポート② 「世の中の出来事、時事問題など」

[登録](#)・[参照](#)

★キャリアデザイン・レポート③ 「所属学科の領域に関する研究・社会問題・職業」

[登録](#)・[参照](#)

キャリアデザインシート キャリアデザイン・レポート

[参照](#)

将来

現在

過去

体験
と
情報

25年度改訂版

5. 修学ポートフォリオ「1週間の行動履歴」 Ver.3

修学基礎
A・B

1年次
全学必修

自己管理
時間管理

1週間の
振り返り

毎週提出
翌週返却

1週間の行動履歴

本人了承済み

※R・・・レポート、P・・・プリント

今週の優先順位(生活・課題等を含め、今週中に達成すべき事柄) ◎: 達成できた、○: ほぼ達成できた、△: 行動したが未達成、×: 行動せず			達成度評価
①	数理統合のテスト対策をする	①	◎
②	ドローイングの復習をする		△
③	資格の勉強をする		△

月/日	曜日	欠席・遅刻科目・理由	予習・復習・課題・所要時間(分)	部活動・利用施設・アルバイトなどの内容・時間帯	食事			睡眠時間(時間)	積極的な運動時間(分)
					朝	昼	夜		
6/7	日	②	コンピュータ科学(復習)40分	スポーツジム16:00~16:40	⑤	○		6	150
6/8	月		数理統合(復習)90分 英語(課題)30分		○	○	○	7	0
6/9	火		③ 英語(復習)12分	LC13:00~14:20	④	○	○	7	60
6/10	水		英語(課題)30分 資格60分	LC15:00~16:00		○	○	7	30
6/11	木		ITシステム(課題)40分			○	○	7	30
6/12	金		ドローイング(課題)70分			○	○	7	90
6/13	土		数理統合(予習)60分	LC11:00~11:50		○	○	6	60

【この1週間で特に努力した点、反省すべき点とその対策、日常生活において困った点など】

今週は、コンピュータ科学の数理統合のテストがあった。コンピュータ科学は勉強不足だったせいか時間がかかってしまった。数理統合は⑥ 取れる問題だったが凡ミスをしてしまい残念だった。次回のテストではしっかりと見直しをしよう。【112文字】

【教員からのコメント】

最後の最後まで確認を怠らないようにね。次回のテストでは100点を期待していますよ。また、他のテストでも高得点を目指してください。

1
週間
単位
の
PD
CA

教員コメント欄
コメントを確認
し学生各自で
入力

- ① 今週の優先順位と達成度
- ② 出欠席遅刻・・・科目名、理由
- ③ 学習・・・科目名、資格名、時間数
- ④ 課外活動・・・教育施設、クラブ活動、アルバイト、時間数
- ⑤ 健康管理・・・朝昼夜の食事摂取、睡眠時間、積極的な運動時間
- ⑥ 1週間で満足したこと、努力したこと、反省点、日常生活で困ったこと(200文字程度)

6. 達成度評価ポートフォリオ

1～3年次生の学年末に作成 → 新年度の全数個人面談資料

年度末報告書型

学年単位のPDCA

- ①今年度の目標(50文字)と達成度自己評価(200文字)
- ②今年度の修学・生活状況の反省(100文字)、およびその改善方法(200文字)
(出欠、成績、課題提出・各種教育センター利用、課外活動、健康、アルバイトなど)
- ③希望進路(100文字)とその実現に向けて実際にとった行動・成果・展望(200文字)
(自学自習、資格挑戦・取得、インターンシップ、研究室選択など)
- ④「KIT人間力＝社会に適合できる能力」に示された5つの能力の達成度自己評価
(各100文字)
(「自律と自立」「リーダーシップ」「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」「コラボレーション能力」の各項目について、具体的な達成度自己評価)
- ⑤ この1年間の大学生活において、自分自身で最も成長したと思うことの具体的な事例とその理由(300文字)
- ⑥次年度の目標(50文字)とこれを達成するための行動予定(200文字)
(各学年設問項目が異なる)

7. 学生の声と授業アンケート

自分の行動を振り返り、次の学年での**目標を明確にする**手助けになったように思う。また、高校まではあまり文章を書くことがなかったが、**文章を多く書く練習**にもなったと思う。

毎年の進路について自分の行動やその時の進路に関する**考え方を振り返る**ことができるのでよかった。また、考えるだけでは忘れてしまうことが多いが、それを**記入して保存**することができるため、**過去と現在の進路に関する考え方を比較**することができるので、さらに考えが深まってよいと思う。

他のレポート課題と同じように、**文章を考える訓練**にはなった。実際、各学期の回顧と展望を比べてみると、学期が進むごとに文字数が増えている。加えて、**反省と改善の提示の訓練**でもあった。達成度ポートフォリオは提出課題であるため、強制的に反省と改善の提示を捻り出さなければいけない。つまり、考えずには先に進めないのである。これが**1年間続くことによって習慣**になる。これは周りの友人との会話からも伺える。例えば学期終了時に感想を求めると、なぜか反省とその改善点が示される。これは私にも当てはまることで、**ポートフォリオの威力を実感する体験**であった。

「行動履歴」や「達成度評価」の作成は有益でしたか

	大変有益	有益	肯定率	回答数
16年2期	6.2%	58.7%	64.9%	1,156
3期	9.3%	68.5%	77.8%	1,007
17年1期	19.0%	71.7%	90.7%	1,341
2期	16.0%	70.3%	86.3%	1,321
3期	18.0%	69.4%	87.4%	1,141
18年1期	17.7%	72.4%	90.1%	1,528
2期	13.7%	64.5%	78.2%	1,301
3期	20.7%	68.1%	88.8%	1,284
19年1期	24.1%	70.1%	94.2%	1,133
2期	16.7%	71.5%	88.2%	1,114
3期	23.7%	68.5%	92.2%	944
20年1期	23.6%	70.1%	93.7%	1,209
2期	18.9%	70.7%	89.6%	1,152
3期	26.6%	66.1%	92.7%	986
21年前学期	19.8%	71.4%	91.2%	1,055
後学期	22.9%	70.1%	93.0%	885
22年前学期	22.7%	70.7%	93.4%	1,175
後学期	25.9%	68.1%	94.0%	818
23年前学期	22.3%	72.3%	94.6%	1,074
後学期	27.7%	66.7%	95.4%	723
24年前学期	22.4%	71.7%	94.1%	1,152
後学期	23.1%	70.1%	93.2%	849

入学以前と比べて自学自習は身につきましたか

	十分身についた	やや身についた	あまり身につかなかった	全く身につかなかった	回答数
16年1期	12.7%	67.2%	17.5%	2.6%	1,404
2期	9.4%	59.9%	25.6%	5.0%	1,156
3期	19.4%	60.6%	15.1%	5.0%	1,007
17年1期	26.8%	58.4%	11.9%	3.0%	1,341
2期	15.5%	65.9%	16.3%	2.3%	1,321
3期	24.4%	61.6%	11.7%	2.3%	1,141
18年1期	23.6%	60.6%	13.5%	2.3%	1,528
2期	15.4%	61.5%	20.3%	2.8%	1,301
3期	23.0%	63.6%	10.7%	2.6%	1,284
19年1期	24.2%	61.3%	12.2%	2.3%	1,133
2期	14.9%	67.2%	15.4%	2.5%	1,114
3期	29.4%	60.2%	9.3%	1.1%	944
20年1期	26.6%	61.2%	10.2%	2.0%	1,209
2期	15.1%	59.0%	22.8%	3.1%	1,152
3期	24.5%	64.6%	9.0%	1.9%	986
21年前学期	21.9%	62.7%	8.0%	2.6%	1,057
後学期	21.6%	65.2%	8.6%	1.7%	882
22年前学期	19.8%	64.4%	13.8%	2.0%	1,177
後学期	25.2%	63.9%	9.8%	1.1%	814
23年前学期	21.4%	64.2%	12.0%	2.4%	1,085
後学期	27.2%	63.3%	8.1%	1.4%	724
24年前学期	24.9%	64.3%	10.0%	0.8%	1,154
後学期	23.6%	67.6%	7.8%	1.0%	850

8. 第二学籍簿としてのポートフォリオ

期待される効果 → 達成されつつある効果

1. 修学・生活の自己管理と分析（自立と自律への第一歩）
2. 自己評価の文章化による自己表現力（就職エントリーシートへの接続）
3. 次年度の目標と行動設定（キャリアデザイン）
4. 修学アドバイザーによる迅速な修学指導
5. 保護者会（全国53会場）個別懇談手元資料
6. 実在修学モデルの提示（大学HP、入学案内など）

予想外の効果

1. 進級した学生も1年次修学アドバイザーに報告や相談
 - ・1年生と上級生のコミュニケーション醸成
 - ・一部で上級生が1年生を指導する「勉強会」の発足
2. 上級生が修学上の相談にのる「？相談コーナー」の設置
3. 学生がオープンキャンパス、保護者会のミニ講演などでデータ公開

9. 新聞ポートフォリオ (25年度運用開始、後学期から電子版)

社会を知る

新聞ポートフォリオ

※後学期(「修学基礎B」)以降は、ポートフォリオシステムを用いてweb入力する。

見やすさ、すばい良、さ、さ

クラス・番号:

氏名:

月/日	曜日	見出し、新聞名、ページ	その見出しの記事内容についての感想
6/9	日	□見出し: 式年遷宮、ええじゃないか 三重・伊勢で再現、練歩く ・新聞名、ページ: 朝日新聞	三重県伊勢市で幕末に起きた民衆暴動「ええじゃないか」が再現された。現在、「ええじゃないか」を舞台町おこしが進められており、120年前の「ええじゃないか」がどれほど印象的だったかわかってくる。
6/10	月	□見出し: オバマ氏「失閣、対話」習氏、TPP情報を求める ・新聞名、ページ: 朝日新聞	米国のオバマ大統領と中国の習近平国家主席は2日間にあたる米中首脳会談を終えた。その際、TPPに関する情報を米国は中国に提供している。中国が参加することになれば日本の輸出入の立場は危うくなるのではないだろうか。
6/11	火	□見出し: 絵師等伯 絵本で知って 七尾の委員会 寄贈 ・新聞名、ページ: 中日新聞	作家安部龍太郎さんの直木賞受賞作「等伯」をわかりやすく書き下した本を七尾市内の小学校に寄贈した。長谷川等伯は七尾出身の絵師である。これを期に、地元の偉人に子どもたちが触れる機会ができたと思う。
6/12	水	□見出し: 人工乳房に公的保険適用 患者の費用負担、大幅減 ・新聞名、ページ: 朝日新聞	これまで自己負担だった乳房再建に必要な人工乳房や関連手術に医療保険が使えるようになる。これによって乳がんの手術を受けた女性患者の負担が少しでも軽減されるはずである。
6/13	木	□見出し: 奥能登の地酒を海外へ ・新聞名、ページ: 中日新聞	奥能登の地酒蔵でつくる鳳珠酒造組合を対象に日本酒輸出の奨励会を開いた。海外の顧客を呼ぶためにインターネットのホームページでは英語版を用意するなど、世界農業遺産に注目されている地酒蔵の取り組みが注目されている。
6/14	金	□見出し: <がん細胞>効率的に攻撃する繊維開発 物質・材料研 ・新聞名、ページ: 毎日新聞	がん細胞に直接粘着して、がん細胞を効率的に攻撃する繊維を開発した。熱と抗がん剤とを組み合わせたもので、局所的な治療で抗がん剤による副作用の軽減が期待できる。今後のがん治療に有効に活用することが期待されている。
6/15	土	□見出し: バス爆破、病院襲撃 女子学生ら30人超死亡 ・新聞名、ページ: 毎日新聞	パキスタンのイスラム過激派武装勢力がシーア派を狙った爆弾テロを行った。武装集団はスンニ派の人々を逃し、シーア派だけを狙った殺害をした。宗教の偏見がひどいだけに、人々を殺すほどのものがあると感じる。

【上記記事の内、特に印象に残った記事についての解説(該当記事に「✓」をつけよ)】

シーア派、スンニ派
スンニ派: 血統による世襲にこだわらなかった人々のこと。シーア派: 預言者(ムハンマド)の血を引く子孫に特別の資格があると考えた少数派。
イスラムの戒律や慣行についても双方で微妙な違いがある。一般的に、シーア派の方が信仰の内面を重視するが、戒律についてはスンニ派の方が厳格に実行する傾向がある。

参考資料 oshiete.goo.ne.jp/qa/1985564.html

(143 文字)

大丈夫...? も、正確なデ-7元、おめ7①

10. 自己評価レポートポートフォリオ

学習目標振り返り型

日本学

提出済

クラス名列: 1AB2-003 氏名: 工大 太郎

戻る

印刷する

科目の行動目標
(学習目標)

についての達成度確認

人文社会科学体育系科目
全開講科目で実施

教員にとってはFDの材料

設問: 行動目標「①日本の歴史上の人物を1人選んで、調査・研究を行い、その成果を課題レポートとして提出できる。」について、

- 1)達成度(0%・20%・40%・60%・80%・100%)を1行目に記述し、
- 2)その理由を100～200文字以内で2行目以降に入力しなさい。
(Aコース受講者のみ記入)

設問に対する回答:

100%

一休宗純のことについて調べた。文献調査を行うことで、生涯を通してどのような生き方をし、何を理想としていたのかなど、多くのことを知ることができた。その成果を課題レポートに書き、期限内に提出することができた。したがって、100%である。

更新日: 2008年11月11日 (122文字)

設問: 行動目標「②日本および日本人の特質を理解し、その概要を適切な日本語の文章で記述できる。」について、

- 1)達成度(0%・20%・40%・60%・80%・100%)を1行目に記述し、
- 2)その理由を100～200文字以内で2行目以降に入力しなさい。
(Aコース受講者のみ記入)

設問に対する回答:

80%

それぞれの授業で、歴史上の日本人について学び、日本人の特質を理解することができた。毎回の授業で提出するレポートを作成することでより理解を深めることができた。したがって、日本人の特質の概要を日本語の文章を記述できるので80%とした。

更新日: 2008年11月11日 (119文字)

設問: 行動目標「③講義の内容を理解し、その要点・概要および考察を、適切な日本語の文章で記述できる。」について、

- 1)達成度(0%・20%・40%・60%・80%・100%)を1行目に記述し、
- 2)その理由を100～200文字以内で2行目以降に入力しなさい。
(A・Bコース受講者とも)

11. プロジェクトデザイン I・II ポートフォリオ

活動成果保存型・能力自己診断

プロジェクトデザイン I・II

クラス名列:

プロジェクトデザイン I

デザインレポート

最終口頭発表スライド

ポスター

能力の状況とその向上に関する自己評価

入力項目

- ① ポスター
- ② 最終設計報告書
- ③ 最終口頭発表スライド
- ④ 能力状況とその向上に関する自己診断

I. 実社会で活躍できる能力に関するもの

A. 口頭による発表		第1週	第5週	第9週
A1	図、グラフ、表、イラスト等を効果的に使用して発表することができる	3	4	5
A2	発表用原稿を余り見ないで、聴いている人達の眼を見ながら発表することができる	3	4	5
A3	聴いている人達からの質問に適切に答えることができる	3	4	5
A4	他の人の発表に対して、適切な質問をすることができる	3	4	5
B. 文書による表現(レポート)		第1週	第5週	第9週
B1	明確で論理的な文章を書くことができる	3	3	4
B2	文章中に、良質な図やイラスト、表などを用いて説明することができる	3	3	4
C. チームの一員として行動する能力		第1週	第5週	第9週
C1	自分が分担した作業を期限までに、責任を持って、完成させる	3	4	4

12.プロジェクトデザインⅢ(卒業研究)ポートフォリオ

学生・指導教員双方向型

活動状況:内容、時間
(日報、週報)
教員指導内容
教員管理メモ

工学設計活動支援 - Windows Internet Explorer

ars21.mars.kanazawa-it.ac.jp/seiseki/ed3_s

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

工学設計活動支援

指導学生一覧へ戻る トップメニューへ戻る ログアウト

対象学生	
学科名	
指導担当教員	
プロジェクトテーマ	超音波とマイクロバブルによる洗浄技術の研究
目的	自動車の特性上、前面投影面積と空気抵抗の2乗に比例するが、この前面ボディと空気と衝突を研究することが
活動予定	4月～7月までに自 9月～10月にデー 11月以降は自分
その他	

ページが表示されました

スタート 受信トレイ-Outlook... マイクロメント

工学設計活動支援 - Windows Internet Explorer

https://mars21.mars.kanazawa-it.ac.jp/seiseki/ed3_s

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

工学設計活動支援

活動履歴一覧へ戻る トップメニューへ戻る ログアウト

工学設計Ⅲ 活動記録の照会

対象学生	
プロジェクトテーマ	超音波とマイクロバブルによる洗浄技術の研究
学科名	
指導担当教員	

活動記録

活動日付	2008/09/22 ~ 2008/09/26
活動記録	時間: 20時間 内容: 設計の改善、振動子の調査・問い合わせ、チームメンバーとのミーティング、発表用PP作成、参考房ライセンスの取得、参考房にて加工方法についての質問など。
指導記録	時間: 3時間 内容: 朝ミーティング: 各係りからの報告など。佐藤・杉本両先生とのミーティング: 佐藤先生に振動子は特注のものではなく、既存のカatalogにあるものでよいのではないかと指導を受けた。杉本先生にはアクリルは注文するのではなく、既存のアクリルを自分たちが必要な寸法に切り出せばよいという指導を受けた。その他にも様々な指導を受けた。 ゼミ: 現在の進捗状況発表。
フィードバックコメント	軸対称ノズル、2次元ノズルのいずれかにせよ加工できるかどうかしっかり検討すること。図面をしっかりと描くこと(基本的なところが出来ていない)。超音波はまず現在の装置でやってみましょう。ベンチュリの設計条件を明確にしておくこと。

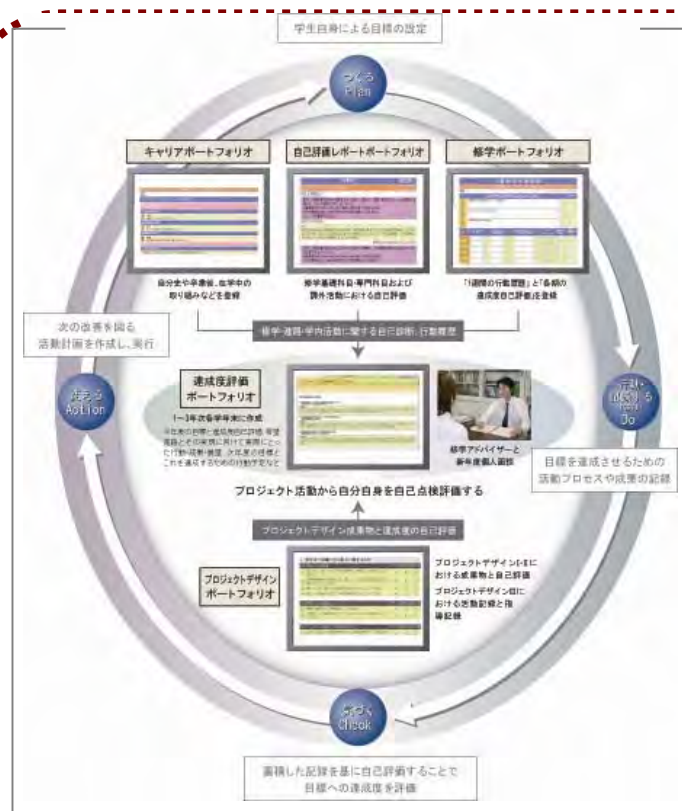
ページが表示されました

スタート 受信トレイ-Outlook... マイクロメント 文書1 - Microsoft W... 3 Internet Explorer 11:19

13. 学生の成長支援型IRシステムの構築

平成22年度「大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラム」
IR (Investor Relations) 活動のコアとなる学生の成長プロセスの発信

自身の成長をステークホルダー交流会を通じて社会にライブ発信

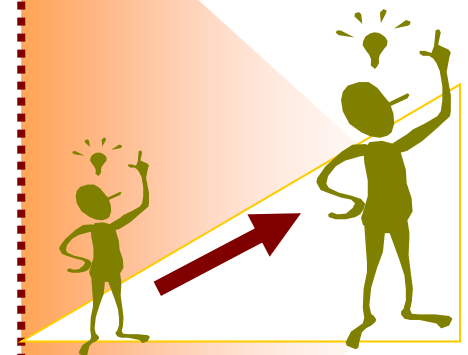


既存のKITポートフォリオ群



活動成果となるさまざまなコンテンツを登録することが可能

課外プログラムポートフォリオ
特別奨学生対象



14. 初年次から連続するポートフォリオ

ポートフォリオ名称	基礎的・汎用的能力	配当科目 (人文社会科学学生涯スポーツ以外は必修)
1週間の行動履歴	自己管理・自己理解	修学基礎A・B
達成度評価(学年末)	自己管理・自己理解・ キャリアプランニング	修学基礎B(1年)、 プロジェクトデザイン実践(2年)、専門ゼミ(3年)
キャリアデザイン	自己理解・自己分析・ キャリアプランニング	修学基礎A・B(1年)、 技術者と社会(2年)、技術マネジメント(3年)
新聞	自己理解・社会形成	修学基礎A・B(1年)、 技術者と社会(2年)、技術マネジメント(3年)
科目の達成度自己評価	自己理解・課題対応	人文社会科学学生涯スポーツ(1～4年)
学部大意科目	自己理解・社会形成・ キャリアプランニング	〇〇大意(1年)
プロジェクトデザイン (PBL)	人間関係・社会形成・ 課題対応	プロジェクトデザインⅠ(1年) プロジェクトデザインⅡ・実践(2年) プロジェクトデザインⅢ(4年)

15. ポートフォリオの評価例

1. 1週間の行動履歴

「今週すべきこと」の3つの欄すべてに記述がある。(1点)

履歴の欄の各行に記述がある。(1点)

反省すべき点と対策の欄に100字以上の記述がある(1点)

2. キャリアデザイン

文字数 900～1000字(2点) 900字未満(0点)

フォーマット フォーマットが正しい(2点) フォーマットが間違っている(0点)

テーマ 指定されたテーマに基づいて独自の論題を記述している(2点)

独自のテーマを設定していない。もしくは、指定されたテーマに基づいていない(0点)

文献 引用した文献(HPからの引用は不可)が1冊以上あり、引用の形式が正しい(2点)

引用した文献があるが、引用の形式が正しくない。文献の引用がない(0点)

内容

内容について2点満点で採点する。文章記述の基本的ルール(常体が使用されているか、段落の最初を1字下げているか、体言止めを使っていないかなど)が守られていない場合は加点しない。

3. 新聞ポートフォリオ

「見出し、新聞名、ページ」と「その見出しの記事内容についての感想」の各欄に漏れなく記述がある。(2点)

「上記記事の内、特に印象に残った記事についての解説欄に200字以上の記述がある(1点)

16. 学生のポートフォリオ活用例

学生生活でやり遂げた重要な事柄を、ポートフォリオで再構成してクリアファイルノートにまとめ上げ、就職活動のエントリーシート作成に活用したり、面談でそれを企業の面接者に見せて説明したりして、希望する企業に就職した卒業生も多い。

【クリアファイルノート作成上の注意事項】

- ①自分がもっとも苦しんだ事柄について、それを具体的にどのように解決したかをまとめること
- ②自分がもっとも成長した事柄について、具体的な証拠を挙げてまとめること
- ③授業で作成したレポートや資料はデータとして保存しておき、必要に応じてクリアファイルノートに加えること
- ④作品は写真で保存しておくこと
- ⑤ポートフォリオ作成は、自分自身のデータベース作りと心得ること

17. 平成13～24年度の教育センター等利用者数 および学長褒賞（褒めの教育）受賞者数

ポートフォリオ
運用開始

2学期制

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
学生数	7513	7295	7011	6851	6824	6892	6809	6903	6767	6675	6550	6702
数理工 教育研究C	12163	14181	14456	13579	14772	15784	15765	14593	14059	20017	19529	27501
夢考房 26	18290	21220	31330	45864	47333	53233	55568	55382	41297	31662	33561	25454
夢考房 41	40327	41940	43842	46203	47597	51070	52270	55389	53785	55393	56698	56441
学長褒賞	2984	3847	4332	5423	6694	7864	9053	7009	5559	5668	5514	6127

22年度から数理リテラシーパスポート特別講座実施

- ・夢考房26:ものづくり 夢考房41:プロジェクト
- ・学長褒賞受賞者延人数(20年度より受賞条件変更、21年度より2学期制)

18. 平成13～24年度のQPA: Quality Point Average

QPA=(評価ポイント×単位数)÷(履修科目の総単位数)

評価ポイント:S(4)・A(3)・B(2)・C(1)・D(0)

	1年次	2年次	3年次	4年次
13年度入学	2.19	↓ 2.09	2.17	2.30
14年度入学	2.18	↓ 2.14	2.21	2.34
15年度入学	2.31	↓ 2.23	2.26	2.36
16年度入学	2.24	↑ 2.30	2.43	2.48
17年度入学	2.35	↑ 2.39	2.44	2.50
18年度入学	2.33	↑ 2.38	2.47	2.54
19年度入学	2.33	↑ 2.40	2.50	2.56
20年度入学	2.29	↑ 2.42	2.45	2.53
21年度入学	2.36	↑ 2.42	2.45	2.53
22年度入学	2.38	↑ 2.41	↓ 2.40	
23年度入学	2.48	↓ 2.44		
24年度入学	2.36			

★ 数字は各年次末までの累計平均値、最大値は4.00

19. 構築中のKITナビについて

- ①本システムは、KITポートフォリオ（カリキュラム修得フロー）、KITダッシュボード、KITポータルで構成され、これらの3つの機能を合わせてKITナビと呼称する。
- ②専門課程も含めて、学修の成果を蓄積する仕組みを構築し、学生に対して成長の度合いが見える仕組みを構築する。

- 作品やコンテンツなどの学習成果物と学習プロセスを蓄積する
- プレゼンや情報発進を行うためのデータを整理して取出せる

- 学生自身が成長の度合いを容易に把握できる
- 学生にとって必要な情報を提供する

【各種ポートフォリオとの連携】



- ・達成度評価ポートフォリオ
- ・修学ポートフォリオ
- ・キャリアポートフォリオ
- ・自己評価レポート
- ・プロジェクトデザイン
- ・レポート提出システムetc

カリキュラム修得フロー
からの連携

KITポートフォリオ



- 【カリキュラム修得フロー】
- 【成果物の格納（専門課程も含む）】
- 【科目、科目群での達成度登録】
- 【成果物の出力】

KITナビ

KITダッシュボード
からのデータ参照

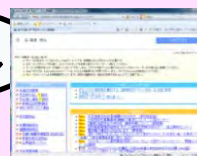
KITダッシュボード

【各種システムとの連携】



- ・出席登録システム
- ・資格試験管理システム
- ・成績照会システム
- ・学長褒賞推薦システム
etc

KITポータル



- 【共通告知、学科連絡、学生呼出】
- 【休講補講照会】
- 【時間割照会】 etc

学生ポータルの
リニューアル

20. おわりに ポートフォリオ活用10年目を迎えて

1. GP資金は教育改革と連動

システム開発・設備・増設費(人件費不可)

2. システムの導入だけでは何も始まらない

できる部分からスタート(欲張らない)

学生との協働作業であることの認識

学生の意識を変えるという強い意志

3. 組織的運用が個人的運用へ拡大

4. 組織的運用は1クール4年間の継続

5. 基礎的・汎用的能力

ポートフォリオ活用に向かない方々

■課題の返却をしない

■学生は教員の背中を見て成長する

すべては学生のために

ご清聴ありがとうございました

fujimoto@neptune.kanazawa-it.ac.jp